

平成17年2月23日

お知らせ

斐伊川流域の水辺を考える懇談会（仮称）の開催について

国土交通省出雲河川事務所では、「斐伊川流域の水辺を考える懇談会（仮称）」を開催します。

斐伊川流域の歴史は、洪水防御と新田開発、用水確保、舟運の発展など斐伊川の変遷とともにあり、沿川の人々の暮らしは、斐伊川のもたらす恵みを楽しみながら発展してきました。流域の暮らしは今も斐伊川と密接な関わりを持っており、これからの流域における地域づくりを考えるに際しては、この斐伊川の水や自然、景観などをどう捉え、どう向き合っていくのかが大きなテーマとなります。

斐伊川流域の中でも、美しい景観を保ち、地域のシンボルとして愛されている宍道湖は、島根県を代表する観光資源であり、近年も斐川なぎさ公園、白潟公園、岸公園などの湖畔公園、水辺を活かした県立美術館や宍道湖ネイチャーランドの整備、堀川遊覧船が運航する松江堀川の導水事業など、地域づくりへの活用が進んでいます。さらに、昨年度は後世に残すべき風景として宍道湖水辺八景が新たに選定されるなど、水辺と暮らしのあり方を考える多くの材料を提供します。

経済の衰退や加速する少子高齢化などの課題を克服し、斐伊川流域が活力ある地域を創造してゆくには地域の愛着を強め、地域資源をうまく活用していく視点と努力が欠かせません。

そこで、「斐伊川流域の水辺を考える懇談会（仮称）」を設立し、宍道湖周辺の取り組みなどをモデルケースとして、斐伊川流域の地域づくりや水辺景観のあり方などについて、有識者のご意見を頂き、将来にわたる斐伊川流域発展への取り組みへとつなげていきたいと考えています。

第一回懇談会を別紙1のとおり予定しています。

お問い合わせ

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

TEL 0853 - 21 - 1850（代表）

（技）副所長

おさかだ かたし
小坂田 堅

調査設計課長

わか まさみつ
和賀 正光

(別紙1)

第一回 斐伊川流域の水辺を考える懇談会(仮称)

1. 日 時 平成17年3月3日(木) 14:00～16:00
2. 場 所 ホテル六道湖 2階 高砂 の間
3. 委員名簿 以下のとおり
4. 取 材 報道関係者の傍聴は可能です。

斐伊川流域の水辺を考える懇談会(仮称)委員

所 属	役 職	氏 名
山陰中央新報社	相談役	木幡 修介
日本旅行業協会島根地区会	代表	塩飽 浩一郎
島根県経済同友会	代表幹事	田江 泰彦
ホシザキグリーン財団	企画交流課長心得	野津 登美子
島根県教育委員会	教育監	福島 律子
島根県立島根女子短期大学	学長	藤岡 大拙
島根県商工会議所連合会	会頭	丸 磐根
風景研究室	代表	吉田 薫

敬称略、五十音順